

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもトレーニングひろば 第一校（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月13日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケアが必要な子でも積極的に受け入れることができる体制の構築	看護職員を多数配置 看護職員以外の喀痰吸引等研修への積極的な参加	全職員で医ケアについての研修会を実施し一人ひとりのスキルアップを図る
2	多職種連携（保育士、児童指導員、看護師、理学療法士、作業療法士など）	職種間での溝ができないように全体での職員会議を積極的に実施 それぞれの職種で出た課題や共有事項の意見交換を密に行なっている	他職種の専門性を理解することが必要と考えるため、職種間を超えた研修会の実施
3	法人内に多機能型の別事業所（放課後等デイサービス+保育所等訪問支援）、短期入所（単独型）が存在すること	「点ではなく線での支援」 未就学児から就学時までを一貫して支援することができる。 通所だけでなくお泊まりをしてもらうことで保護者様のレスパイトにもなる	事業所間の交流を増やし利用児がスムーズに次のステップへ進むことができるよう体制を構築していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者参加型の研修会がない	事業所職員の研修会は実施しているが、保護者参加型までは手を回せていなかった	研修実行グループを企画し、運営・実行を行う
2	他事業所との繋がりが少ない	他事業所との交流機会が少ない	近隣の事業所様との交流を定期的に行なっていく 研修会や懇親会の企画を積極的に行なっていく
3	地域との交流が少ない	外部との交流機会が少ないため、面識が少ない状態 以前から同じ課題を感じていながら改善することができていなかった	イベント時に積極的に地域の方々へ声をかけ事業所に来てもらう機会を作るところから始めていきたいと思っております